



第 96 回 日本薬理学会年会/第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 同時開催 (JPW 2022)

日本生理学会との共催シンポジウム「新時代を迎えた“内受容”感覚研究」

開催日時 : 11 月 30 日 (水) 8:30-9:45

司会 : 日比野 浩 † (大阪大学大学院医学系研究科・教授)、樽野 陽幸 † (京都府立医科大学大学院医学研究科・教授)

スピーカー :

(1) 今井 貴夫 (ヘルランド総合病院 めまい難聴センター・センター長)

「前庭の内受容を介した姿勢制御の新知見と病態生理」

(2) 樽野 陽幸 † (京都府立医科大学大学院医学研究科・教授)

「チャネルシナプスが担う内受容感覚」

(3) 佐々木 拓哉 † (東北大学薬学研究科・教授)

「迷走神経を介した内受容感覚の脳活動への影響」

(4) 今井 淳太 (東北大学大学院医学系研究科・准教授)

「迷走神経シグナルを介した恒常性維持機構」

コメンテーター : 前田 佳主馬 (塩野義製薬株式会社 創薬疾患研究所・associate director)

† AMED-CREST 研究開発代表者 (PI)、 † JST-CREST 研究代表者 (PI)

【共催】

・国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 革新的先端研究開発支援事業 (AMED-CREST/PRIME) 研究開発領域「マルチセンシングネットワークの統合的理解と制御機構の解明による革新的医療技術開発」

・Japan Agency for Medical Research and Development(AMED) Advanced Research & Development Programs for Medical Innovation(AMED-CREST/ PRIME) “Integrated understanding of multi-sensing networks and elucidation of their control mechanisms leading to the innovation of medical technologies”

・国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 戦略的創造研究推進事業 (CREST) 「生体マルチセンシングシステムの究明と活用技術の創出」

・Japan Science and Technology Agency (JST)

Strategic Basic Research Programs (CREST) Research on “Multi-sensing Biosystems and Development of Adaptive Technologies”

戦略目標
研究開発目標

ヒトのマルチセンシングネットワークの 統合的理解と制御機構の解明

本目標では、**生体感覚システムや末梢神経ネットワークを包括したマルチセンシングシステム**の動作機構解明、病態解明、活動状態を可視化・定量化する技術開発及びそれらをもとにした副作用の少ない治療法や予防法の開発並びに個人に適した医薬品、医療機器、低侵襲性デバイスの創出を目指す。
また、生体のマルチセンシング機能の拡張や高度なセンシングメカニズムの応用による**イノベーションシーズの創出**を目指す。

令和5年春に研究提案の募集を予定しています。

- ※ 1 国会における令和5年度政府予算の成立を前提としています。
- ※ 2 研究領域/研究開発領域に関する情報は次のURLに掲載しております。
AMED-CREST/PRIME: https://www.amed.go.jp/program/list/16/02/001_15.html
JST CREST/さきがけ: https://www.jst.go.jp/kisoken/crest/research_area/ongoing/bunya2021-5.html
- ※ 3 研究提案募集の詳細につきましては、準備が整い次第以下のURLに掲載いたします。
AMED: <https://www.amed.go.jp/>
JST: <https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

領域体制



ヒトのマルチセンシングネットワークの
統合的理解と制御機構の解明

Program Supervisor (PS) 永井良三

AMED

PO



西田幸二

PO



竹内昌治

AMED-CREST
PRIME

JST

PO



入来篤史

PO



神崎亮平

CREST

さきがけ